



学校だより

<家庭数> 第7号
令和2年10月30日発行
品川区立第四日野小学校
校長 島崎 一江
<http://school.cts.ne.jp/hino4/>



四日野人権月間 『おたがいさま』

校長 島崎 一江

秋も深まり、夕焼けがきれいなこの頃となりました。輝くオレンジ色に縁どられた雲、グラデーションの美しい空が心をひきつけます。思わず写真に収めたくくなります。雨の多い秋の始まりでしたので、余計に美しく感じるのでしょうか。そして、あっという間に暗くなってしまふはかなさが寂しさを加えます。まさにつるべ落としです。秋を味わうひと時です。

10月27日に全校遠足に行ってきました。林試の森公園も秋本番。お天気にも恵まれ、子どもたちは秋を満喫できました。コロナ禍でなかなか活動できなかったわくわく班ですが、できることを工夫しながら開始しました。この全校遠足も例年の縮小版での実施ですが、6年生の最大の活躍の場となりました。班のメンバーをまとめ、リードする姿はとても頼もしく、ほほえましくもありました。

さて、今月は2学期の『四日野人権月間』です。社会でよりよい生活をするためには、どうしてもなくてはならないのが『人権感覚』です。たとえば、先ほどの全校遠足では、班の面倒を見ながら皆をリードする立場、リードしてくれる人を助け面倒を見られる立場が生じます。どの学年の子も、それぞれがそれぞれの立場を分かって協力し合い、オリエンテーリングをゴールするという活動です。それは、人権感覚を養うための実践の一つと言えます。

また、四日野では、十数年ほど前から中原児童館が主催する『赤ちゃんふれあい事業』に5年生が参加させていただいています。中原児童館に集まるお父さんお母さんが赤ちゃんを連れて本校に遊びに来てくださる事業ですが、今年度は、本物の赤ちゃんは来られませんが、助産師さんのお話と赤ちゃんの人形（沐浴人形）を使った『抱っこ体験』や妊婦ジャケットを使った『妊婦体験』の授業でした。赤ちゃんのことについて学び、お母さんの大変さとともに深い愛情がそそがれて大きくなったことを知り、みんな「自分もこうだったのだな」と考えられることができました。『命の大切さ』に触れることのできる素晴らしい学習です。自分を育ててもらっていることに『感謝』すること、そして、小さくて何も自分ではできない赤ちゃんを『かわいい』『いとおしい』と思えること、「何かをしてあげたい」と思えることは、まさに『人権感覚』だと思えます。素晴らしい学習をさせていただいています。

先日、全校朝会（放送朝会）で、品川の『おたがいさま運動』の話をしました。『おたがいさま ところをつなぐ ありがとう』困った時は『おたがいさま』と助け合い、助けてもらったら『ありがとう』と言える。困った時に『助けて』と言える。これがあたり前にできる社会は素敵です。たとえば、電車の中で座っているときにご高齢の方や妊婦さんが来たらどうしますか。どうぞと席をゆずれたら素敵ですね。あの人大変そうだなと思ったら、自分に何かできないかなと考えて行動できる人になりたいですね。と話しました。それを実践する11月にしたいと思います。

28日、学習発表会です。子どもたちの頑張っている姿をご覧くださいたいと思います。感染防止のためご不便をおかけしますが、ご協力お願いします。心よりお待ちしております。

また、12月には市民科授業地区公開講座と合わせて学校公開を2日間予定しています。どうぞよろしくお願いいたします。

